国立ハンセン病資料館2024年企画展

絵ごころでつながる－
多磨全生園絵画の100年

100 YEARS OF PAINTINGS AT TAMA ZENSHO-EN

絵を描くことが
ぼくらのすべてだ

2024 3.2 sat ─ 9.1 sun

入場無料

The National Hansen's Disease Museum
国立ハンセン病資料館

●開館時間 9:30-16:30 [入館は16:00まで]　●休館日：月曜および「国民の祝日」の翌日（月曜が祝日の場合は開館）

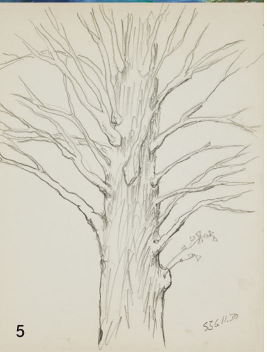
都合により会期の変更、入場制限または予約制の導入を行うことがあります。ご来館の際は当館公式サイトで最新情報をご確認ください。

1

2

平林寺山門 S52.5.10
3

4


5

6

7

8

国立ハンセン病資料館2024年企画展

絵ごころでつながる－
多磨全生園絵画の100年

9

絵を描くことが、私と社会とを継ぐ唯一の行動であった

―氷上恵介「暑い日」より

今からおよそ100年前の1923年10月31日、第一区府県立全生病院（現・多磨全生園）の礼拝堂で「第壱回絵画会」が開幕しました。この絵画会は、同院の入所者が描いた絵画を展示した初の催しとなりました。その後、戦時中に結成された絵画サークルの活動が戦後に本格化し、近年は集団から個人での作品作りへと変化し活動が継続されてきました。ハンセン病患者・回復者に対する強制隔離という苦難のなかの絵画活動は、描き手同士と、描き手と職員をつなぎ、やがて描き手と社会をつなぐものになっていきました。本展は、絵画会を起点とする多磨全生園の絵画活動100年の歩みを一望し、初公開のものを含む多くの絵画作品を関連資料とともに紹介します。

イベント情報

国立ハンセン病資料館 映像ホール　2024年3月9日（土）から当館HPにて申込開始（各定員100名）

●朗読会

「描き手の言葉を読む」

朗読：**青柳菜摘** あおやぎなつみ

2024年5月5日（日・祝）
14:00〜15:30（13:30開場）

東京都生まれ。アーティスト。映像を用いたインスタレーションなどを手がける。第二詩集『そだつのをやめる』（2022）で第28回中原中也賞受賞。書店兼プロジェクト・スペースである「コ本や honkbooks」主宰。「だつお」というアーティスト名でも活動。

●講演会

「世の途中から隠され、再び現れてきたこと-義足と絵画」

講師：**木下直之** きのしたなおゆき

2024年6月1日（土）
14:00〜15:30（13:30開場）

静岡県浜松市生まれ。兵庫県立近代美術館学芸員、東京大学総合研究博物館助教授、東京大学文学部教授（文化資源学）を経て、2017年より静岡県立美術館館長、神奈川大学日本常民文化研究所所員。著書に『美術という見世物』（1993年、サントリー学芸賞）など。

●トークイベント

「100年の絵画史を展示すること」

金子牧 かねこまき
×本展担当学芸員 **吉國元** よしくにもと

2024年7月13日（土）
14:00〜15:30（13:30開場）

カンザス大学美術史学部准教授。同校にて日本近現代美術史とアジア系アメリカ・ディアスポラ美術を教える。著書に『日本帝国の鏡像：洋画家たちの男性像 1930年−50年』（2015）、共編にスペンサー美術館年次雑誌『レジスター』特集号「アジア近現代美術」（2019）。

関連の催し

絵画教室、ワークショップは2024年3月9日（土）から当館HPにて申込開始

●絵画展

「いのちの森を描く」カイズケン絵画展

3月2日（土）〜6月2日（日） 当館1階ギャラリー

●絵画教室［講師：本展担当学芸員 吉國元］

「多磨全生園を描こうーあおぞら絵画教室」①

3月30日（土） 10:00〜15:00
多磨全生園内 資料館通りの桜並木
定員：12名（保護者、介助者等の同伴可）

●絵画教室［講師：本展担当学芸員 吉國元］

「多磨全生園を描こうーあおぞら絵画教室」②

4月29日（月・祝）10:00〜15:00
多磨全生園内 全生学園跡
定員：12名（保護者、介助者等の同伴可）

●絵画教室成果発表展

「多磨全生園を描こうーあおぞら絵画教室」

6月5日（水）〜7月31日（水） 当館1階ギャラリー

絵画教室、ワークショップ講師
本展担当学芸員 **吉國元**

●ワークショップ［講師：本展担当学芸員 吉國元］

「多磨全生園の昔を描きおこす」

7月27日（土）10:00〜15:00 当館1階ロビー
定員：15名（保護者、介助者等の同伴可）

●ワークショップ成果発表展

「多磨全生園の昔を描きおこす」

8月2日（金）〜9月1日（日） 当館1階ギャラリー

●ミュージアムトーク［ハイブリッド開催］

「絵ごころでつながるー多磨全生園絵画の100年」

3月23日（土）［事前予約制 申込受付中］14:00〜15:30（13:30開場）
当館映像ホール（定員：140名）／オンライン（定員：100名）

●展示解説

「担当学芸員によるギャラリートーク」

3月9日（土）、4月27日（土）、5月25日（土）、6月22日（土）
7月20日（土）、8月10日（土）、8月24日（土）、9月1日（日）
各回：14:00〜14:40　当館企画展示室［事前予約不要］

上記の内容は予告なく変更する場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

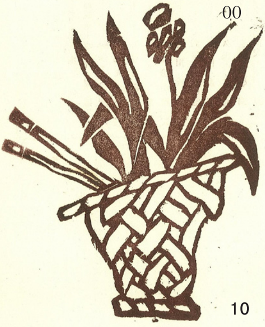
表.絵を持つ「絵の会」会員、新憲法公布記念の書画展開催にあたって1946年11月に撮影　1.国吉信《桜》制作年不詳　2.氷上恵介による表紙カット『山桜』1950年2月　3.氷上恵介《平林寺山門》1977年5月10日　4.望月章《湖に映る雪山》制作年不詳　5.氷上恵介《無題》1981年11月30日　6.長洲政雄《武蔵野の森》1958年　7.氷上恵介による表紙カット『山桜』1950年10月（部分）　8.村瀬哲朗による表紙カット『多磨』1956年7月（部分）　9.国吉信のパレットと筆、年代不詳　10.氷上恵介による表紙カット『山桜』1950年6月（部分）　11.中学生による木版画《洗濯場》1963年頃　12.作者不詳、表紙カット『山桜』1942年1月（部分）　13.鈴村洋子 葉書 1999年　14.村瀬哲朗による表紙カット『多磨』1956年9月　15.国吉信《キャンドルサービス》制作年不詳　16.国吉信《無題》1970年代前半か　17.鈴村洋子《無題》制作年不詳（部分）　すべて国立ハンセン病資料館蔵　※会期中に一部展示替えを行います。

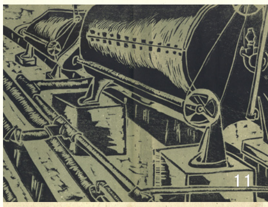
交通のご案内

- 西武池袋線「清瀬駅」南口発　西武バス 久米川駅北口行き（乗車時間 約10分）「ハンセン病資料館」下車すぐ
- 西武新宿線「久米川駅」北口発　西武バス 清瀬駅南口行き（乗車時間 約20分）「ハンセン病資料館」下車すぐ
- JR武蔵野線「新秋津駅」または西武池袋線「秋津駅」より徒歩約20分
- 駐車場の台数が限られています。なるべく公共交通機関をご利用ください

展覧会公式サイト

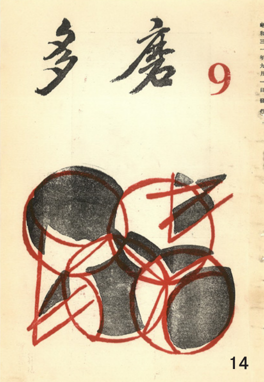
The National Hansen's Disease Museum
国立ハンセン病資料館
〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13　Tel.042-396-2909


10


11

12

13



14

15

16

17